

国際儀礼の基本講座 ～その22～

平成23年11月
地方連携推進室 杉田明子

Q 会食を夫妻単位とするか、単身行事とするかはどのように決めるのでしょうか。

A 【ワンポイント・アドバイス】

ケースバイケースで決めることが望ましいですが、一般的には、主賓が夫妻で来日している場合でかつ社交を目的とする会食の場合、夫妻単位としています。逆に、主賓が単身で来日している場合や、実務を主たる目的とする会食の場合には、単身行事とすることが望ましいと考えられます。



【解説】

1. 国の賓客の場合、主賓が夫妻で訪日しているかどうか、また夫妻で訪日している場合でも、社交を主たる目的とする会食か、あるいは実務を主たる目的とした会食かによって、夫妻単位の行事とするか単身の行事とするかを決めています（注）。
2. 近年は、国際会議で複数の国の指導者が一堂に会することが増え、会食も「ワーキングランチ」といわれるように会議の延長のような実務中心の食事が増えてきました。そこで、実務と社交のめりはりをつけるために、夜の会食を夫妻単位の社交の場として、主催国の文化や産業技術を紹介するサイドイベントを開催するなどの工夫を加えるケースが増えてきています。

(注)

- 主賓が単身で訪日する場合＝会食は単身

- 主賓が配偶者を伴って訪日し、かつ社交を目的とする場合＝会食は夫妻単位
- 主賓が配偶者を伴って訪日しているが、実務を主たる目的とする場合＝会食は単身